

バス路線再編の取り組み状況について

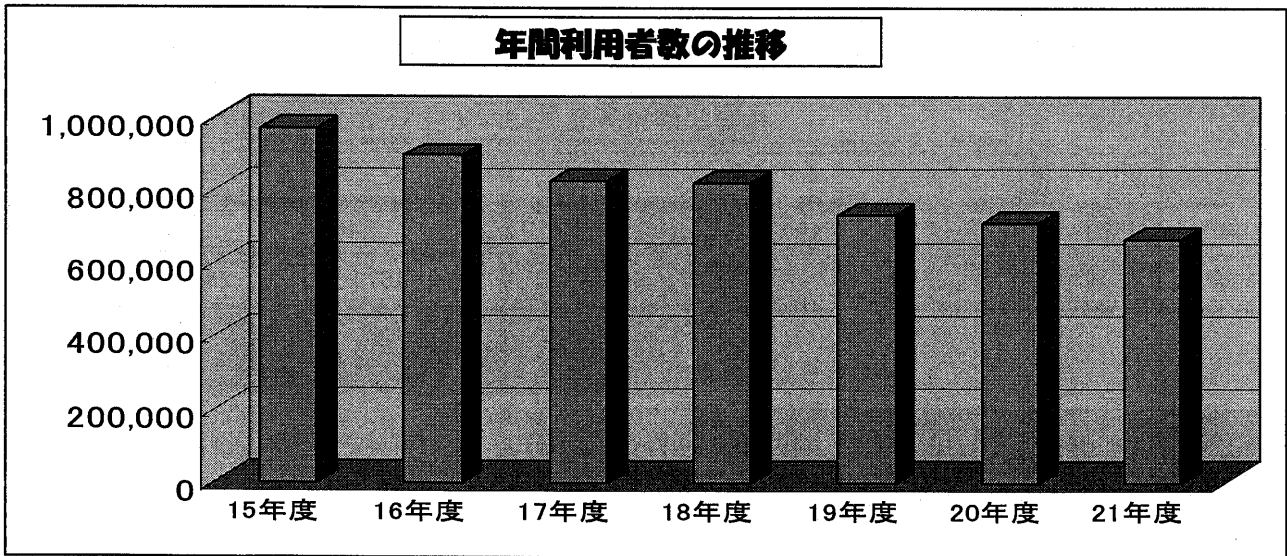
期日：平成 22 年 2 月 25 日（木）

場所：東陽支所会議室

- 1 生活安全課長挨拶 10月1日の運用開始を予定しています。
- 2 バス路線に関する概要説明（岩崎）
 - (1) 公共交通の現状
 - (2) 現在の検討状況
- 3 その他

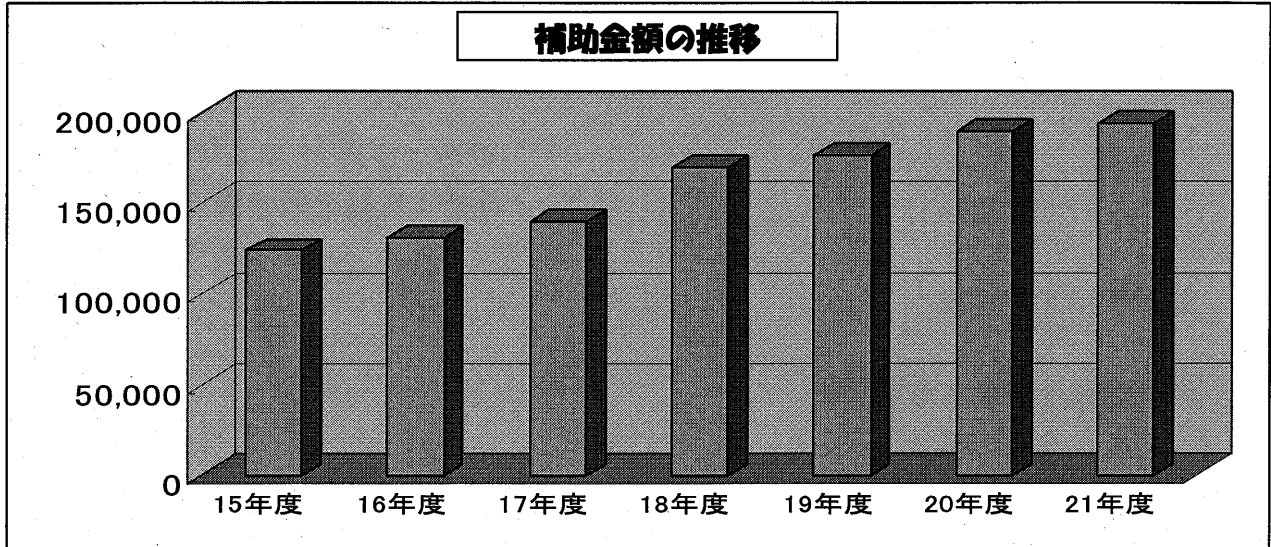
公共交通（バス）の現状

(1) バスの利用状況



(人)	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
利用者数	970,414	893,816	825,820	818,320	732,196	710,658	665,502
前年比較	—	▲76,598	▲67,996	▲7,500	▲86,124	▲21,538	▲45,156
15年度比	—	▲76,598	▲144,594	▲152,094	▲238,218	▲259,756	▲304,912

(2) バス事業者に対する補助金の交付状況



(千円)	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
補助金額	123,770	130,826	139,483	169,739	176,499	189,384	193,638
前年比較	—	7,056	8,657	30,256	6,760	12,885	4,254
15年度比	—	7,056	15,713	45,969	52,729	65,614	69,868

旧市町村を
合算している。

◆平成21年度補助金額 (東陽町分抜粋)

(単位：千円)

番号	始点	経由	終点	運行回数	市負担額	県補助額	合計
1	八代産交	新八代駅西口	河俣	5	7,486	3,743	11,229
町計					7,486	3,743	11,229
市合計					167,938	28,708	193,638

■ 検討状況

(1) 検討組織

ア. 八代市地域公共交通会議 (平成21年5月設置)

(ア) 協議内容

- a. 運行の様様 乗り合いタクシー・乗り合いバス
- b. 運賃
- c. 事業計画 (路線、営業区域、使用車両など)
- d. 路線又は営業区域の休廃止など
- e. バス路線再編計画策定

(2) 検討内容

●効率的なバス運行

■視点1 重複バス系統を統合。

■視点2 利用者数に応じたバス系統毎の運行回数の設定

■視点3 利用者数に応じた車両の選定

●利便性の向上

■視点1 バス運行の結節拠点は中心市街地・八代駅等

■視点2 市街地における循環路線の設定

■視点3 バス乗り継ぎ環境の整備

中心市街地活性化のためにも
中心市街地を拠点としたい。

●新規路線等の設置

■視点1 住宅密集地域と市街地を結ぶ路線の設定

■視点2 山間地域等における乗合タクシー等の導入

●バス利用環境の充実

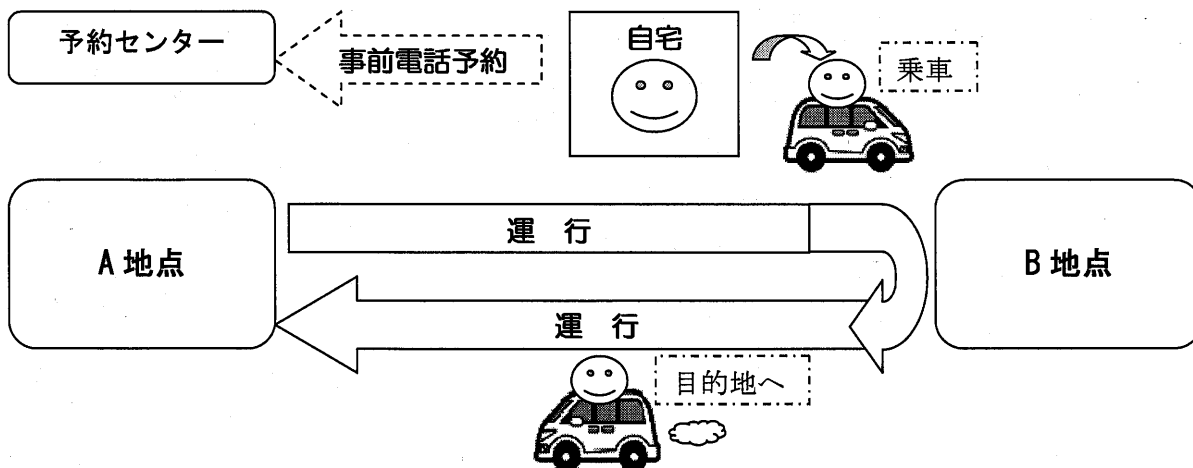
■視点1 利用しやすいバス料金の設定

■視点2 わかりやすい公共交通情報の提供

160円程度の平均料金の予定

(3) バス路線再編の全体的イメージ (次ページ参照)

■乗合タクシーの一般的事例



バス路線再編全体イメージ

